

録件録下

四 争議發生原因

昭和二十六年六月二十七日

三 争議發生年月日

一 關聯組合 全國刺書演業員組合

一 參事人員 全員一三名

二 争議團體

一 演業員總 畏 北谷 文 四谷

一 館 主 北野久三

一 演 出 映 市 刺 書 演 業 員 組 合

一 演 出 映 市 刺 書 演 業 員 組 合

一 事業主側

指

演業館刺書演業員總團争議ノ件

租國法人謝斷會大廻支所

財團法人協調會大阪支所

五 争議ノ經過及解決

事業不振ノ理由ヲ以テ六月二十五日從業員ニ對シ左記ノ如ク

(イ) 七月分ヨリ給料ノ一割ヲ減給ス

(ロ) 若シ前項ヲ不服トシ應ゼザル時ハ來ル七月一日ヨリ向フ三ヶ

月間休業ス休業中ハ給料五割ヲ支給スベシ

ト發表シタルニ端ヲ發シ六月二十九日以來罷業ヲ決行スルニ至

レルモノナルガ從業員側ニ於テハ右發表以來寄々協議中ニアリ

タルガ京阪神三都映畫争議勃發ニ刺戟ヲ受ケ直チニ全國映畫從

業員組合ノ指導ヲ求メタルニヨリ映畫組合争議部長富家榮ハ六

月二十九日午后三時頃從業員代表トシテ館主北野久三ニ會見シ

藝ニ發表シタル減給休業ノ二案ニ對シテハ從業員ハ絶對之レニ

應ズル能ハザル旨ヲ述ベ別紙要求書ヲ提出シ即答ヲ求メタルニ

館主ニ於テハ不況殊ニ夏季ニ於テハ之レ以上考慮ノ餘地ナシト

拒絶シタル爲メ交渉決裂シ會見ヲ終リタルガ從業員ハ直チニ争